



赤坂・白鬚神社神幸祭(伊方) / 岩屋神社神幸祭(弁城)

# 地域をつなぐ、熱い伝統

江戸時代からの歴史を誇り、老若男女問わず愛され続けてきた方城の祭り。伊方から弁城へ、2週間にわたる二つの神幸祭が今年も行われました。勇壮な昇かき手たちの声と囃子の音色が初夏の訪れを伝えます。



白鬚神社では獅子舞や稚児舞が神事の厳かな雰囲気を高めました。最終日には赤坂・白鬚両神社前に山笠が集い、今季最後の競演。神社の参道に向かう神輿の前に立ちふさがり、祭りの終わりを惜しまました。

5月4日・5日 赤坂・白鬚神社神幸祭

## ファン待望の季節が到来 方城を彩る二つの祭り

5月の大型連休中に始まった伊方と弁城の神幸祭。合戦絵巻を表した華麗な山笠が囃子とともに練り歩く姿は、この時期の風物詩として地域を彩ります。両神幸祭ともに天候に恵まれ、町内外から多くの人々が来訪。暑さも忘れ、囃子とともに近づく行列を今や遅しと待ちわびていました。勇壮な山笠が2日間にわたり町内を練り歩き、迎えた最終日。神社に神輿が到着すると一転して厳かな神事が行われ、祭りは静かに閉幕。受け継がれる伝統行事は、今年も年齢や地域の垣根を越えて多くの人々をつなぎました。

岩屋神社神幸祭 5月13日・14日

毎年各常会が持ち回りで担当する神輿当番。今年は上弁城が多数の観客の前で重さ1トンの神輿を約5分間担ぎ上げ、大きな歓声を浴びました。弁城にとって2年に一度の山笠運行も行われ、この日を待ちわびた人々の熱い思いが掛け声とともに会場に広がりました。



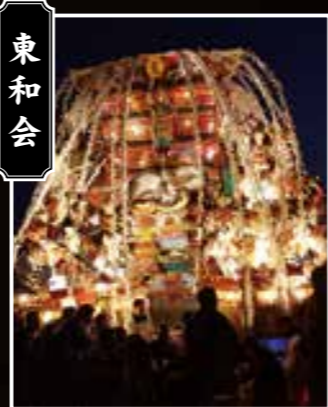
# 伊方 山笠競演会



新友会



西流会



東和会



宝珠



春田



久六



浄万寺



**巨** 大な神輿の登場に沸く中、始まりを告げた弁城の山笠競演会。祭りの最後を飾るこのイベントに参加した人々は疲れを忘れて熱狂します。弁城の山笠の特徴は上部に取り付けられた4mを超える馬簾と笛を用いずに鉦を打ち鳴らす囃子。白い馬簾を青空になびかせ、砂塵を巻き上げて旋回する山笠の雄姿は圧巻の一言でした。各常会は順番に「練り回し」を披露し、観衆は間近に迫る山笠の迫力を体感。約5分間の持ち時間で、気力・体力を振り絞った昇き手には惜しめない拍手が送られました。



**電** 飾の幻想的な光、響き渡る太鼓と笛の音色。神幸祭の前夜、毎年恒例行事である伊方の山笠競演会が行われました。福智町の発足を記念して始まったこの行事も今年で11回目。きらびやかな装飾を纏った山笠がその華麗さを競いました。高さ5mを超える7基の山笠は東西に分かれ、激しい「練り回し」を披露。山笠を合わせて押し合う場面は昇き手たちの熱い思いがぶつかり合う競演会の一瞬の見せ場です。揃いの法被に身を包み、勇壮な声を上げる姿が集まった多くの人々を巻き込み、会場を大きな一体感で包み込みました。



後谷同好会



誠遊会



栄友会



酒友会



上弁城



迫



新町

# 弁城 山笠競演会